

宮崎県の乳用牛群検定事業への 最近の取組み (メモ)

平成27年7月9日
JA宮崎経済連酪農課 大村

- 1 牛群検定の状況 26 年度末現在
 - (1) 4 組合 225 戸 8,340 頭
検定農家比率 78.7 % 検定牛比率 78.7 %
 - (2) 305日乳量 9,457 kg (全国 9,448kg 都府県 9,521kg 北海道 9,410kg)
 - (3) 分娩間隔 463 日 (全国 435日 都府県 446日 北海道 429日)

- 2 牛群検定を活用した、地域での取組内容
 - (1) 産地分析を活用した酪農支援活動
※ 産地分析の基礎データ : 牛群検定データ、生乳販売データ
 - ① その地域での自分の立ち位置を知ること。
 - ② そして、我が家の課題を確認する。
 - ③ 支援体制は、その地域の酪農担当技術員会(JA、行政等)が中心となり、他関係機関とも連携し支援チームを結成する。
 - ④ 技術員会で農家選定し、巡回支援する。2か月1回の技術員会で情報の共有化を図る。
 - ⑤ 具体的な取組方法
 - ア 問題の抽出 : 産地分析による問題の洗い出し 飼養管理等アンケート
 - イ 改善内容の提案 : 問題内容の提案 改善内容と順序の決定
 - ウ 具体的改善に向けた支援 : 具体的改善案の提示 改善に向けた支援チーム体制の確認 改善方法や時期の明確化
 - ⑥ 今後は、県内各地域を対象とした仕組みへ移行予定。
※ 内容は、JA宮崎経済連HP 酪農宮崎2月号P3・4に掲載。
 - (2) 各牛群検定組合による研修会の実施

- 3 牛群検定推進の課題
 - (1) 酪農経営に有効なデータ活用の推進
 - (2) 検定組合員の減少による組合運営の方向性

北諸県地域の産地分析を活用した酪農の産地改革支援活動について

北諸県管内では収益性の高い畜産を構築するため、都城・北諸酪農担当技術員会（以下、「技術員会」という）で産地分析を活用した個別支援活動を行っていますので、その取組内容について紹介します。

1 産地分析とは

産地分析とは酪農家個人や酪農部会全体の課題を整理し、課題解決のために必要な支援を行うことです。図1が酪農家個人の産地分析結果の参考例です。それぞれの表で我が家の課題が見えやすい形になっています。

2 支援体制と重点支援農家の選定

当地域では酪農での産地分析を、平成24年度から行っています。

支援体制は主にJA都城、南部酪農、経済連及び普及センターが中心となり、他関係機関とも連携を取りながら支援チームを結成しています(図2)。

重点支援農家の農家選定についても産地分析結果から、技術員会で選定し、平成25年度は6農家、平成26年度は新たに3農家に対して支援を行っています。また活動内容については2ヶ月に1回開催される技術員会で現在の状況等を説明し、情報の共有化を図っています。

3 各農家への具体的な取組方法

重点支援農家への支援は、具体的改善に向けての取組を農家と話し合いながら「問題の抽出」「改善内容の提案」「具体的改善に向けた支援」の順序で行っています(図3)。

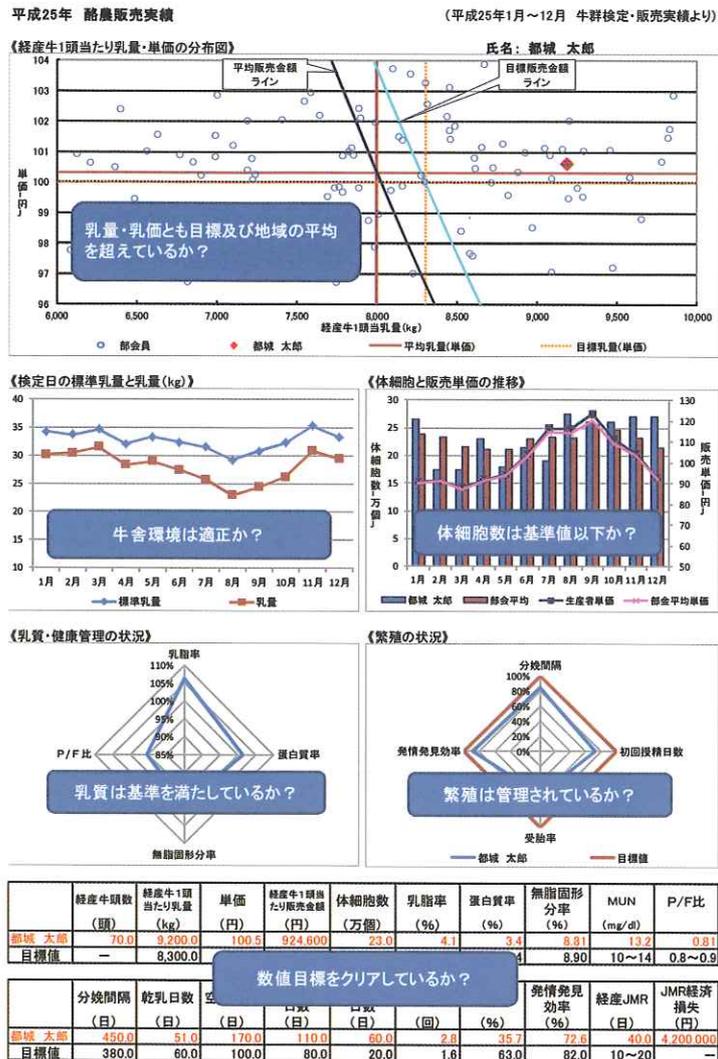


図1 産地分析結果の参考例



図2 地域の支援体制図

4 産地分析の活用

重点支援農家のほとんどが「乳量が伸びない」や「体細胞数が高い」等問題点は分かっていますが、改善策が具体化できておらず、何が原因なのかが明確ではありませんでした。

しかし産地分析結果をもとに検討を行う中で、何が原因で問題が起こっているのかを明確にすることができ、更に具体的改善策を見いだす手がかりを見つける

ことができるようになりました。また、改善に向けての目標を数値化することで、どれだけ目標に近づいたのかを知ることができ、改善への取組意欲向上が見られてきています。

また表1の改善内容整理表のように現在取り組んでいる農家の多くが繁殖や飼料給与の改善が必要な場合が多くなっています。そこで支援チームで巡回を行いながらNOSAIと協力し定期的繁殖検診を実施するとともに、飼料メーカーによる各ステージに合った飼料メニューの検討も行っています。現在は半年を目処に支援チームで実績検討会を行い、改善内容の見直しや新たな改善内容を追加し、更なる改善に向けた支援を行っています。

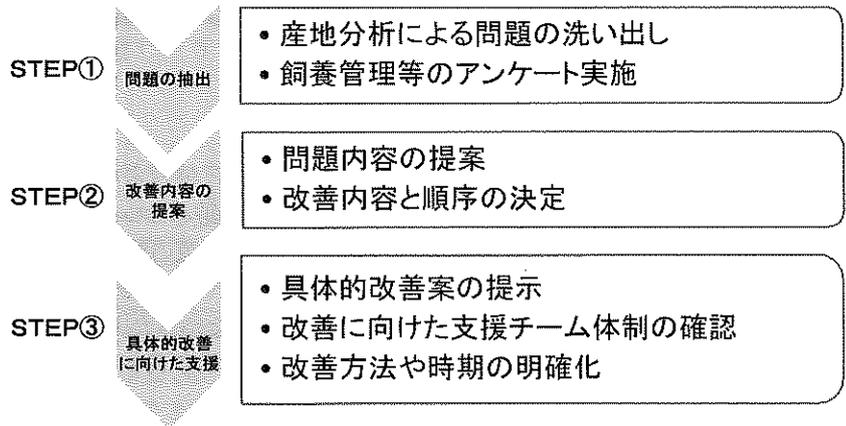


図3 各農家への具体的支援の流れ

表1 農家毎の改善内容整理表

農家名	繁殖改善		牛舎環境整備				飼料の確保	給与飼料の見直し	搾乳手数の見直し	蹄病対策
	繁殖検診	発情見直し	牛床	飼槽	水飲み場	乾乳牛舎				
A	①		②	②		②	②	③	③	
B	①			②			②		③	
C	①								③	②
D	①		②	②	②				③	
E	③		②					①	③	②
F	②	②					③	①		
G	②						③	①		
H	②	②						③		①
I										①

繁殖成績改善

牛舎環境改善

飼料給与改善

☆①②③:改善を行う順序

5 今後の活動方向

今後は、この産地分析を活用し重点支援体制を拡大していくとともに、他の農家への改善手法に活用できるような支援体制の継続と充実を図っていき、1戸でも多くの酪農家の生産性向上を目指していきたいと思っています。

(北諸県農林振興局農業経営課(北諸県農業改良普及センター)畜産普及担当 廣津美和)